

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校教育目標 「夢を語って、夢を追う児童生徒の育成」～「継続」「挑戦」「進化」～のもと、県指定小中連携研究を柱に中学校区内の学校間で連携した取り組みを進めている。4校による合同研修や推進会議を実施し、協力・交流の機会や情報の共有を通して、学力向上、キャリア教育、人権・同和教育など、共に研鑽を積んだ。</p> <p>・学力向上については、佐賀県や唐津市が推し進める、「授業づくりの1, 2, 3」や「アクションプラン」をもとに、小中連携による研究に添って、単元による学習計画書の活用と授業と連動した家庭学習の工夫に取り組んだ。教師間で協議を重ね、学習計画表を活用して単元をひとまとまりにした授業が定着しており、家庭学習との連動にも意識した授業改善が進んでいる。</p> <p>・児童主体のあいさつ運動を実施しているが、中学生にならぬ、立ち止まりあいさつに取り組む児童が増えている。学校行事においても児童の出番が確保され、自分たちの手で行事を成功させたという達成感を感じさせることができている。</p> <p>・業務改善については、過度な超過勤務はなく勤務時間についてはほぼ適正であるといえる。しかし、時期的・個人的には取組が十分でないこともあり、業務の平準化を図り、より効率よく業務をしていくことが、課題である。</p>
--------------------------	--

2 学校教育目標	夢を語って夢を追う児童生徒の育成 ～「継続」・「挑戦」・「進化」～
-----------------	-----------------------------------

3 本年度の重点目標	<p>○中学校区内の学校連携に根ざした校内研究（キャリア教育・学力向上）の推進</p> <p>○学習用タブレット端末を活用した授業実践</p> <p>○分かる授業の構築と確かな学力の育成</p> <p>○児童会・生徒会活動の活性化</p> <p>○業務改善と働き方改革の推進</p>
-------------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
(1)共通評価項目											
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●「唐津の学びスタイル」チェックシートの平均3以上の成果指標を達成した教師80%以上	・全教職員間で学力向上対策評価シートの課題解決に向けた取り組みを共有するとともに、校内研究等により「唐津の学びスタイル」の取組を促進する。							教頭	
	○わかる授業の構築と確かな学力の育成	○「学習計画表を積極的に活用できた」と回答した教師80%以上 ○1人1台タブレットを活用した学習に積極的に取り組む。	・学習計画表や1人1台端末の活用法について校内研究で深め、さらなる活用を目指す。							研究主任 学力向上コーディネーター	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達に思いやりの心もち、仲良く過ごすことができている」と回答した児童80%以上	・道徳教育や人権・同和教育を中心に、学校教育のあらゆる場面で心の教育の充実を図り、その様子を保護者などへ紹介するように努める。							道徳教育推進教師 人権・同和教育担当	
	●友人間トラブルの早期発見、早期対応体制の充実	○「学級での心地よさを感じている」と回答した児童80%以上	・生活アンケートやいじめ調査を定期的実施し、友人間トラブルの早期発見・早期対応に努める。							生活指導主任 教育相談担当	
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・教職員、保護者、交通指導員による登下校時の安全指導を行う。 ・交通安全教室(歩行・自転車)を実施し、交通安全教育を計画的・継続的に行う。							教頭 安全教育担当	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務の平準化及び効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・バーコード型の出退勤記録票を基に勤務実態を把握し、職員への声掛けを行う。金曜日を定時退勤日とし、相談体制を充実させる。							教頭	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○キャリア教育	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・5, 6年生のマナー検定や職業講話への参加を継続して行う。 ・生活科や総合的な学習の時間等にキャリア教育を意識した単元(発達段階に応じた内容)を組み込む。							キャリア教育担当	
○特別活動の充実	○児童の主体的活動の活性化	○「友だちの意見をよく聞いて考えることができた」と回答する児童80%以上	・学校行事に主体的に関わることができるようにするため、実行委員会や運営委員会などを中心に児童がリーダーとして活動できる機会をつくる。							児童会担当 (特活部)	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
----------------------------	-------------